

赤間っ子だより

城山学園重点目標 挑戦する楽しさを実感する子供の育成

校長 内藤 博愛

ほんの少しの成長を認め、ほめるということ

ある会合で、保護者の方と話す機会があり、「子どもをほめたいのだけど、何をどんなふうにほめるといいのかわからない」と悩んでいる保護者の方がありました。

私自身、3人の子どもの親としてこの悩みはついてまわったのですが、一つ参考になる資料を紹介します。

学校だより7月号でも紹介した県の教育委員会が発行している冊子の別の部分です。

手伝いの場面がかかれています。ポイントはほんの少しの成長をほめる、ということ。

右の場面はご家庭でもありがちな風景。参考にしていただければ幸いです。

（「鍛ほめ福岡メソッド実践の手引き」）

子どもが今、チャレンジしていることに関心を寄せ、子どものほんの少しの成長を認め、ほめることが大切です。

学校便り等をご覧いただき、学校の取組に沿ってほめることも有効ですが、学校の取組に限らず、家庭においても、手伝いや生活習慣等、「小さな挑戦」を乗り越えさせる経験を遂げさせ、そのことをほめることで、子どもの自律的な成長が期待されます。

例えば、「自分で起きる」「靴をそろえる」「手伝いを一つ増やす」等も、子どもにとっては「小さな挑戦」になる場合があります。したがって、そのような視点から、目標を親子で話し合っ決めて、日常の「小さな挑戦」を見守り、認め、ほめるという一連のサイクルは「鍛ほめ福岡メソッド」の考え方と一致します。



なお、手伝いは、まずは「カーテンを開ける」「テーブルを拭く」等から始め、子ども自身に「家族の役に立つ自分」への手応えや喜びを感じさせながら、徐々に少し難しい手伝いに移行させると効果的です。また、手伝いをやり終えた時は、「助かった。」「ありがとう。」等、ほめるというよりも、感謝の気持ちを伝えるという構えで、言葉をかけることが大切です。



ちなみに、このような目標設定を唐突に行うと、子どものやる気を引き出しにくくなる場合があります。新年や、学年の始め、誕生日など、子どもにとって節目を意識しやすいタイミングを待って、目標を親子で話し合うことで、子どものやる気を引き出しやすくなります。

◆11月の主な行事予定◆

- 8日（金）子ども大学準備（5時間授業）
- 9日（土）子ども大学（学校の日、14：15下校）
- 11日（月）子ども大学振替休日
- 13日（水）観劇会
- 15日（金）クラブ活動（9月延期分）
- 20日（水）生活科見学（1年）
- 21日（木）生活科見学（2年）
- 22日（金）クラブ活動
- 28日（木）～29日（金）宿泊体験学習（5年）